



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場会社名 高千穂交易株式会社

上場取引所 東

コード番号 2676 URL <http://www.takachiho-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 戸田 秀雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営システム本部長 (氏名) 広木 邦昭

TEL 03-3355-1111

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	3,879	4.5	32	△63.6	40	△50.7	△43	—
24年3月期第1四半期	3,711	△17.0	87	△48.3	82	△57.7	17	△78.7

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △43百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 26百万円 (△20.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△4.46	—
24年3月期第1四半期	1.73	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	17,499	13,294	75.3	1,345.21
24年3月期	18,290	13,501	73.1	1,365.71

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 13,170百万円 24年3月期 13,371百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	12.00	—	17.00	29.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注1) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 24年3月期期末配当の内訳 普通配当12円00銭 60周年記念配当5円00銭

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,880	9.0	160	△49.3	180	△43.0	60	△5.5	6.13
通期	19,000	13.8	820	8.3	840	1.6	420	21.9	42.90

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.2「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	10,140,300 株	24年3月期	10,140,300 株
25年3月期1Q	349,669 株	24年3月期	349,669 株
25年3月期1Q	9,790,631 株	24年3月期1Q	10,114,067 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する監査手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 2
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 2
3. 四半期連結財務諸表	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 6
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 7
(5) セグメント情報等	P. 7
4. 補足情報	P. 8
販売実績	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災からの復興関連需要などを背景に、徐々に持ち直しつつありますが、欧州債務危機の高まりに伴う金融資本市場の変動や海外経済の減速、ひいては国内景気の下振れも懸念されます。

当社グループの経営環境は引き続き競争激化の状況にありますが、新たな成長を見据えて、「独自の付加価値の創出」と「グローバルビジネスの本格展開」を中期事業方針に掲げ、その実現に取り組んでおります。

具体的には、システムセグメントでは、既存市場の強化に加え、前年度子会社化したTakachiho Fire, Security & Services(Thailand)Ltd.及びマイティカード㈱との事業シナジーを追求し、グローバル展開の加速や販路の更なる拡大を目指しております。一方、デバイスセグメントでは、新商品の立上げや独自の専門性の強化により、高付加価値ビジネスの確立と収益拡大を図っているほか、中国ローカル企業への機構部品の販売など、海外ビジネスを強化しております。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高では前年度子会社化した2社の販売貢献や産機商品類の販売好調を主因に、前年同期比4.5%増の38億79百万円となりました。

損益につきましては、企業買収に伴うのれんの償却等により、営業利益は前年同期比63.6%減の32百万円、経常利益は前年同期比50.7%減の40百万円、四半期純利益は、投資有価証券評価損44百万円を計上したことなどから、43百万円の損失となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (システムセグメント)

システムセグメントの売上高は、前年同期比19.9%増の14億70百万円、営業利益はのれんの償却等により、42百万円の損失となりました。

セキュリティ商品類では、カジュアル衣料ショップ向けに万引き防止装置、入店カウンターの販売が好調に推移したほか、子会社化したTakachiho Fire, Security & Services(Thailand)Ltd.の販売貢献などにより、売上高は前年同期比27.2%増の12億20百万円となりました。

メーリング商品類では、小・中ロット向け小型インサーティングシステムの販売が好調に推移しましたが、売上高は大型案件を獲得した前年同期に比べ46.1%減の81百万円となりました。

その他商品類では、子会社化したマイティカード㈱によるICタグの販売貢献などにより、売上高は前年同期比45.1%増の1億68百万円となりました。

#### (デバイスセグメント)

デバイスセグメントの売上高は、前年同期比6.2%減の18億45百万円、営業利益は前年同期比31.2%減の27百万円となりました。

電子商品類では、新サプライヤー商品の販売に注力し、アミューズメント向けICの販売が堅調に推移しましたが、顧客メーカーの生産停滞の影響などから、売上高は前年同期比19.6%減の8億96百万円となりました。

産機商品類では、主力のATM(現金自動預け払い機)向け機構部品の販売が、中国向けを中心に増加したほか、遊技市場向け機構部品の販売が前年度に引き続き好調に推移したことなどから、売上高は前年同期比11.2%増の9億48百万円となりました。

#### (カスタマ・サービス)

カスタマ・サービスセグメントは、システム機器の納入設置案件が増加したことなどから、売上高は前年同期比9.2%増の5億64百万円となりましたが、陣容強化に伴う費用の増加などから、営業利益は前年同期比10.8%減の46百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ7億91百万円減少し、174億99百万円となりました。これは、現金及び預金が4億8百万円、商品及び製品が2億50百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が10億94百万円、有価証券が1億98百万円減少したことなどによるものです。他方、負債は、前連結会計年度末と比べ5億83百万円減少し、42億5百万円となりました。これは未払法人税等が2億32百万円、支払手形及び買掛金が2億37百万円減少したことなどによるものです。純資産は、配当金の支払などによって、前連結会計年度末と比べ2億7百万円減少し、132億94百万円となりました。自己資本比率は前連結会計年度末から2.2ポイント上昇し、75.3%となりました。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,492	6,901
受取手形及び売掛金	5,346	4,252
有価証券	1,197	998
商品及び製品	2,026	2,276
その他	410	403
貸倒引当金	△14	△18
流動資産合計	15,458	14,813
固定資産		
有形固定資産	499	494
無形固定資産		
のれん	997	932
その他	173	160
無形固定資産合計	1,170	1,093
投資その他の資産		
投資有価証券	493	475
その他	684	638
貸倒引当金	△16	△16
投資その他の資産合計	1,160	1,098
固定資産合計	2,831	2,686
資産合計	18,290	17,499

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,563	2,326
未払法人税等	261	28
賞与引当金	289	149
役員賞与引当金	18	9
その他	761	876
流動負債合計	3,894	3,389
固定負債		
退職給付引当金	741	736
その他	153	78
固定負債合計	894	815
負債合計	4,788	4,205
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,193	1,193
資本剰余金	1,156	1,156
利益剰余金	11,357	11,146
自己株式	△298	△298
株主資本合計	13,409	13,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43	57
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△81	△85
その他の包括利益累計額合計	△37	△28
新株予約権	16	18
少数株主持分	114	105
純資産合計	13,501	13,294
負債純資産合計	18,290	17,499

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	3,711	3,879
売上原価	2,689	2,748
売上総利益	1,022	1,131
販売費及び一般管理費	934	1,098
営業利益	87	32
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	6	6
その他	2	3
営業外収益合計	10	11
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	15	2
その他	0	0
営業外費用合計	16	3
経常利益	82	40
特別損失		
投資有価証券評価損	24	44
特別損失合計	24	44
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	58	△3
法人税、住民税及び事業税	19	17
法人税等調整額	21	30
法人税等合計	40	48
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	17	△52
少数株主損失(△)	△0	△8
四半期純利益又は四半期純損失(△)	17	△43

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	17	△52
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	13
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△5	△4
その他の包括利益合計	9	9
四半期包括利益	26	△43
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26	△34
少数株主に係る四半期包括利益	△0	△8



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システム	デバイス	カスタマ・サービス	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	1,226	1,968	516	3,711	—	3,711
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,226	1,968	516	3,711	—	3,711
セグメント利益	2	40	52	94	△6	87

(注) 1. セグメント利益の調整額△6百万円には、連結調整額△0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△6百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「システム」セグメントにおいて、Takachiho Fire, Security & Services(Thailand)Ltd. (旧商号:Tyco Fire, Security & Services(Thailand) Ltd.) の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたため、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は53百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システム	デバイス	カスタマ・サービス	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	1,470	1,845	564	3,879	—	3,879
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,470	1,845	564	3,879	—	3,879
セグメント利益又は損失(△)	△42	27	46	31	0	32

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額0百万円は、連結調整額であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

販売実績

(単位：百万円)

区 分	前四半期 (平成24年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成25年3月期 第1四半期)
セキュリティ商品類	959	1,220
メーリング商品類	151	81
その他商品類	116	168
システム 計	1,226	1,470
電子商品類	1,114	896
産機商品類	853	948
デバイス 計	1,968	1,845
カスタマ・サービス 計	516	564
計	3,711	3,879